

○平成30年1月31日 総合防災対策特別委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の特別委員会では、毎年テーマを定めて審査を行っております。

総合防災対策特別委員会では、今年度のテーマを「災害時の防災関係機関との連携について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」と定めており、今回、3カ所の現地視察を行いました。

まず、桑崎池（高松市中山町）において、堤防の耐震化補強工事の概要について説明を受け、一般車両が堤防上を通過することによる堤防への影響等について質疑を行った後、堤防法面の盛土工事の状況等を視察しました。



次に、国分寺北部コミュニティセンター（高松市国分寺町）において、高松市国分寺北部校区自主防災組織連絡協議会による、災害に強いまちづくりを目指した活動の概要について説明を受け、地域住民の避難訓練への参加状況や自主防災活動の広報啓発方法等について質疑を行いました。



最後に、高松港海岸屋島地区（高松市屋島西町）において、海岸堤防のかさ上げ工事や耐震性を確保するための工事の概要について説明を受け、工事の施行範囲等について質疑を行いました。

